



第 2207 回例会

2025 年 2 月 3 日(月)



海南商工会議所 4F 19:00~



お誕生日、結婚記念日のお祝い

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

「君が代」

3. ロータリーソング

「奉仕の理想」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 27 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 71.05% 前回修正出席率 73.61%

4. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君



皆さんこんばんは。昨日別府大分毎日マラソン見た方も多くいらっしゃると思いますが、海南市下津町出身の若林宏樹さんが初マラソンにて最後のランで 2 時間6分7秒という日本人初マラソン最高記録、学生最高記録、当然和歌山県最高記録を12分以上更新など、記録ずくめの結果を残しました。今年9月に開かれる世界陸上東京大会の参加標準記録も上回りました。本当に引退するのか今後の去就が注目されます。今日2月3日は本来節分ですが今年の節分が昨日の 2 月 2 日になったのは、地球の公転に伴うわずかなずれが影響しているためだそうです。節分は立春の前日を指し、立春の日付は太陽の位置に基づいて決められます。そのため、節分の日付は年によって変わることがあります。2021年には実に 124 年ぶりに 2 月 2 日が節分の日になりましたが、4年後の今年も同様に 2 月 2 日になるそうです。これは AI に聞きました。

2月はロータリーの「平和構築と紛争予防月間」です。現在様々な場所で紛争は起こっていますが平和はロータリーの人道的組織としての使命の礎となるもので、地域社会での平和構築のために協力し紛争を予防しましょうと言われています。

2月にお誕生日を迎える皆様、結婚記念日を迎える皆様おめでとうございます。後ほどお祝いさせて頂きます。

先日50周年の記念式典に際しチャーターメンバーである岡田雅晶さん奥村匡敏さん中村雅行さん鳶村

佳郎さんより多くのご厚志をいただきました。厚く御礼申し上げます。先週末に4名の方々にお礼状と出来上がった週報を添えてお礼に行ってまいりました。今は退会されておられます、お元気で、いまだに熱く思いを語られる姿に感動いたしました。特に岡田さんは現在96歳50年前の和歌山西ロータリークラブと合同でチャーターナイトをしたことなど本当に詳細に教えていただきました。ちなみに岡田さんは小児科医で私が小さいころ診察していただき、お尻に注射されたことを思い出しました。

さて、来週は日曜日に海南のロータリークラブ合同清掃活動を行います。商工会議所を起点に行います。もうすでに募集させていただいておりますが多くのご参加よろしくお願ひいたします。なお小雨決行ではありますか雨天中止の場合は社会奉仕委員長の田中淳さんよりご連絡あると思います。なお、次の日の2月10日月曜日は前日清掃活動が行われた場合はもちろんですが中止の場合でも休会となりますので皆さんご理解のほどお願ひいたします。

5. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山東南 RC 2月12日(水)→14日(金)

18:30~ ダイワロイネットホテル和歌山

和歌山南 RCとの合同例会

和歌山南 RC 2月14日(金)

18:30~ ダイワロイネットホテル和歌山

和歌山東南 Rとの合同夜間例会

岩出 RC

2月13日(木)→16日(日)

オープン例会 粉河ふるさとセンター

27日(木)19:00~20:00 夜間例会

3月6日(木)→5日(水)分区4合同例会

粉河ふるさとセンター

○例会休会のお知らせ

有田 RC 2月13日(木) 27日(木)

田辺 RC 2月13日(木) 3月20日(木)

岩出 RC 2月20日(木) 3月20日(木)

和歌山東南 RC 2月26日(水)

○2月ロータリーレート

1\$ = 154 円

2月は「平和構築と紛争予防月間」

四つのテスト 言葉はこれにてらしてから

- ①真実かどうか
- ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか

Rotary



事務所 〒642-0002

ロータリーのマジック
海南省日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

6.委員会報告

○8〇会 コンペ幹事 倉橋 利徳 君
3月23日(日)サンリゾートCCでコンペします。

7.表彰伝達

○ロータリー財団 ポール ハリス フェロー



中西 秀文 君(第2回)



7.閉会点鐘

次回例会



第 2208 回 2025 年 2 月 9(月)
海南商工会議所集合 8:30~
清掃活動 海南クリーンアップ作戦

2月23日はロータリー創立記念日



ニコニコ・BOX



Happy birthday!
2月のお祝い



○会員誕生日

1日 角谷 太基 君 11日 土井 元司 君
17日 榊原 由希子 君 26日 岡 洋平 君

○奥様・旦那様誕生日

1日 榊原 江太郎 様



○結婚記念日お祝い

3日 岡 洋平 君 14日 谷脇 良樹 君
16日 上野山 雅也 君 23日 奥 喜全 君

○一般ニコニコ

箕嶋 利一 君 ゴルフ楽しくまわってきました。
重光 孝義 君 白浜ゴルフに行ってきました。
宇恵 久視 君 50周年ありがとうございました。
また、先日は60歳のお祝いして
もらいました。
倉橋 利徳 君 ありがとうございました。
田中 淳 君 くら寿司で孫にジイジイといわ
れました。
中村 俊之 君 50周年記念品ありがとうございました。子供の共通試験できたら
らしい。
才力 昭浩 君 ゆずのコンサートに行ってきました。
上田 善計 君 お酒、好きです。
千賀 知起 君 50周年、皆さん良かったです。
上野山雅也 君 結婚記念日は我が家では、なに
もないです。

山名 正一 君

納税協会で皆さんにお世話に
なりました。

新垣 直樹 君

空調機等、調子が悪くなってき
ました。

奥 喜全 君

娘が大学でオーケストラ部に入
りコンサートに行ってきました。
ラーメン山岡家、3時間待ち、マ
ルゲンに行ってきました。

総田さよ志 君

青岸渡寺で豆まきをしてきま
した。

榎原由希子 君

きみの海南映画祭、活動弁士が
来てくれ、100人ぐらい集まりま
した。

大江 久夫 君

50周年の閉会の挨拶みんな
心配してくれましたが、なんとか
できました。

中西 秀文 君

歯科医師会で串本へ行って来
ました。

楠山友加江 君

お店が4周年を迎えた。
週、4回先週ゴルフに行って来
ました。まだまだ行きます。

桑添 剛 君

50周年良かったです。
家族で京都に行って来ました。
インバンドすごい。

上中 翼郎 君

岡 洋平 君

鳥羽 弘基 君

雨の森で陶芸と食事して来ま
した。

岡 洋平 君

私も還暦です。

楠部 均 君

ロータリーに入ってよかったです。
皆さん、元気です。

前田 克仁 君

息子がまず一つ大学に合格し
ました。

田岡 郁敏 君

50周年本当にありがとうございました。

土井 元司 君

孫が無事、大阪桐蔭吹奏楽部を
卒業しました。

Rotary NEWS

2026 年

ロータリー平和フェローシップの申請

2026 年ロータリー平和
フェローシップの申請は、
2 月 1 日から開始となりま
す。申請に適した方をご存
じの場合は、下記フォーム
からご紹介ください。ロー
タリーからその方にフェロ
ーシップの情報(修士号プ
ログラム、専門能力開発修了証プログラム)をお送
りします。平和構築に貢献できる人材を見つけるため
にご協力ください!



<https://on.rotary.org/4jiLBvC>

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

分断ではなく平和の連鎖を

～パレスチナ支援に長年携わる平和フェローがガザの現状と平和について綴る

寄稿:金子由佳(元ロータリー平和フェロー)

私はロータリー平和フェローとして、2010年～2011年にクイーンズランド大学(オーストラリア)の大学院国際政治学部で平和・紛争解決コースに参加しました。フェローシップ(全額支給の奨学金)を通じて、大学での授業はもちろん、実地体験(AFE)として3ヶ月にわたる国際組織でのインターン、平和学に資するスタディーツアー、学会発表への参加、受入国オーストラリアでの多様な人びとの交流など、平和を学ぶために有益な機会をたくさんいただきました。AFEでは、前職の同僚を頼ってアフリカのシエラレオネ・カンビア県で行われていたJICAの地域開発事業でインターンとして3ヶ月滞在しました。また、スタディーツアーではパレスチナのヨルダン川西岸地区に1ヶ月間、現地NGOのボランティアとして参加しました。卒業後は特に、パレスチナでのボランティア活動での経験をもとに仕事を探し、2012年から2017年には、日本国際ボランティアセンター(JVC)と言う国際協力NGOでパレスチナに赴任、ガザ地区で母子の栄養改善事業に携わりました。この5年間でガザ地区を頻繁に訪れ、横浜のロータリークラブの皆さんと、グローバル補助金を使った母子保健事業も実施。

2018年からは日本赤十字社などで働きながら、パレスチナの支援を続け、今は国際NGO、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザ地区の緊急支援、生計向上支援の担当をしています。その傍ら、立教大学で2019年から「パレスチナ問題の歴史と現在」という授業を担当し、パレスチナ問題を通じ国際政治や宗教問題、紛争問題を考える機会を若い人達に提供しています。

ガザでの悲惨な現状

パレスチナ・ガザ地区では、ご存じの通り2023年10月から大規模な空爆が行われ、先日停戦合意に至ったもの



の、4万7千人以上の市民が犠牲になりました。うち7割は子どもと女性と言われ、四肢を失うなどの大きな障害を負った子どもも6千人に上ると見られています。

ます。また民家の9割は破壊され、今後の復興に途方もない年月と費用がかかる見込みです。

私が一緒に働くガザ現地のスタッフの多くも家を失い、友達も家を失いました。空爆中は何度も避



難を繰り返し、今は家とも呼べないようなところで、まともな食事もとれず、避難生活を余儀なくされています。ガザの冬はみぞれが降るほど寒いのですが、医療施設も甚大な被害を受けており、関連死も増え続けています。とりあえず停戦になりましたが、これからどうすればいいのか、皆が途方に暮れています。また、65万人いると言われる学生(小学生や中学生含む)も、この間一切学校に行けていません。教育が止まり、思い出ごと町が壊され、友人や家族が無残に殺される様を400日以上見続けたガザの子どもたちの心に、世界はどう見えていたのでしょうか。

パレスチナは、紛争の代名詞ともいえるほどよく耳にする名前だと思いますが、この問題は今年で77年を迎えています。そして、ガザへのこうした大規模空爆は、何度も起きています。

市民のつながりこそが大事

よく、大学の生徒から「暴力の連鎖を断ち切るにはどうしたらよいですか?」という質問を受けます。そのような時、私は、非常に単純ですが、「暴力とは逆の連鎖を作ること、つまり平和の連鎖を作ることが大切ではないか」と伝えています。

具体的には、武器を作らない、持たない、持たせないことがまず大事です。そして暴力以外の道で、交渉を行うこと、人びとの生活をよくするためにお金を投資すること、利益を独占しないこと、などが大切です。人が豊かになり、公平になれば、不満は減ります。しかし昨今は、人びとの不満を煽(あお)り、仮想敵のイメージを増幅し、市民同士のつながりを分断するような動きが増えています。確かに、気候変動問題などを考えると、将来は不安要素に満ちています。近隣諸国も動きも気になるところです。

しかし、ここで分断をストップし、互いに歩み寄らなければ、人類が、多大な犠牲を払って築いてきた人道・人権という概念や、平和や人間の安全保障というシステムを、自ら捨てることになります。これから厳しい時代になりますが、粘り強く平和をあきらめないことがカギになります。分断される社会の中で、どうしたら人びとの連帯と慈愛の気持ちを増やせるのか。平和の連鎖を作るには、ロータリーの皆さんや、NGOが実践する市民同士の繋がりが大切だと思います。



ROTARY ROTARY



航空機墜落の悲劇後に韓国のロータリー会員が支援に駆けつける

救助隊員に1日2千食を提供した「愛のフードトラック」

12月29日、韓国 の務安国際空港で悲惨な飛行機事故が発生しました。バンコク発の濟州航空 TC2216 便が着陸時に滑走路の外壁に衝突したこの事故で、ロータリー会員1名を含む乗客179名が死亡。全国に衝撃が走りました。



韓国務安郡を含むロータリー第3710地区のガバナーのペクさんは、RCとしてどのように支援できるか?「自分たちに果たせる役割は何か」を自問しました。

駆け付けた救助隊員たちには、水や温かい食事、暖房のついた休憩場所といった基本的なニーズが不足していることを、ボランティアで消防活動をしていた会員仲間から聞きました。また、迅速かつ十分な情報に基づいて判断を下すために、災害対応の経験を持つ地区幹事のシム・ヘンさんに連絡しました。ペクさんたちはすぐに行動を起こしました。事故から数時間後、支援してくれる会員を募るために、地区のボランティアグループのチャットにメッセージが送されました。すると、ボトル入りの水、コーヒー、ラーメン、キムチなどがすぐに集まりました。チームのリーダーたちは、ボランティアのシフトや物資輸送の手配を行いました。

「どんな災害でも、最初の24~48時間が極めて重要」、政府や自治体のリソースが投入される前の即時の支援が最も効果を発揮します。

災害時や危機時における支援を目的に地区が2010年に結成した「超我の奉仕チーム」が、一度に最大200食を調理できる移動式業務用キッチン「愛のフード トラック」を出動させました。

資金面での援助もすぐに行われました。韓国内のほかの13地区の支援を得て、即座に約3万~4万ドルを調達。この資金は、地区補助金とロータリアン個人からの寄付を合わせたものでした。

事故から8時間後、厳重に封鎖された事故現場にロータリーの車両が到着しました。ロータリーは現場に到着した最初のボランティア団体でした。遺族やジャーナリストを含む多くの人は現場への立ち入りを拒否されましたが、明確な目的を持ち、入念な準備をしていたロータリー会員たちは立ち入りを許可されました。「私たちのフードトラックは、温かい食事と飲み物をすぐに提供できる設備が整っていました。困難で辛い救援作業にあたっていた人たちの助けになることを説明しました」

こうして、フードトラック、水と食料を積んだ補給トラック、そして12人のボランティアを詰め込んだ6人乗りSUVが到着し、早速活動に取り掛かりました。

偶然のキムチ

チームが目にした光景はあまりに悲惨でした。墜落現場には、ねじれた尾翼の残骸が不気味に横たわり、燃料と燃える残骸の刺激臭が空



中に漂っていました。救助隊員、消防士、警察官、軍人、法医学調査官、医療スタッフなど数百人が、犠牲者の救出と被害状況の調査という、精神的に負担の大きい作業に当たっていました。ロータリー会員たちは、墜落現場からわずか数メートルのところに愛のフード トラックとテントを設置しました。「すぐにお湯を沸かし始めました」と、チームリーダーのペ・キヨン・ヒさんは言います。「救助隊員が温まり、元気を保てるようにと簡単な食事を提供することを優先しました」

厳しい寒さの中、6つの大きな容器で絶えずお湯を沸かし、ホットコーヒー、お茶、インスタントラーメンなどを供給し続けました。毎日2,000食以上の食事も提供しました。最初は、キムパプ、カップ麺、餅スープ、温かい飲み物など、シンプルでもホットしてもらえるような定番料理でしたが、その後は、豚キムチチゲ、ワカメスープ、パン、焼き芋、スナック類などメニューを拡大しました。ホットパックやひざ掛け毛布、歯磨き粉やタオルなどの洗面用品も提供しました。チームは6日間で、キムチをなんと700キログラムも配布しました。偶然にも、地区ではちょうどその1週間前に恵まれない地域住民にキムチを提供することを目的とした毎年恒例のキムチ作りイベントを行ったばかり。

青いロータリーのベストを着た人を探して

ロータリーの取り組みについて現場の誰かが投稿したSNSメッセージを目にしたペさんは、ロータリーが真の変化をもたらしていることを確信しました。「(そのメッセージには)食料や暖かさが必要な人は、青いロータリーのベストを着た人たちを探すようにと書いてありました」

継続的なサポート

ロータリーの支援は現場での活動だけでは終わりませんでした。光州市近郊で葬儀場を経営するペさんは、犠牲者22人の葬儀を執り行いました。「墜落現場での活動の後、葬儀をすることになりました。現場が一番大変だと思っていたが、実際には、その後の数週間の方が大きな精神的疲労がありました」今もトラウマを抱える遺族たちのために、ロータリー会員は長期的なサポートの取り組みを開始しました。カウンセリングの教授であるペクさんは、遺族が悲しみを乗り越えられるようセッションを開くことを予定しています。また、犠牲者の子どもたちが悲しみを乗り越えられるよう支援する計画も立てています。

今回の事故後のロータリーの対応に感銘を受けた多くの地元住民から、ロータリー入会に関する問い合わせが寄せられています。

世界を変える行動人